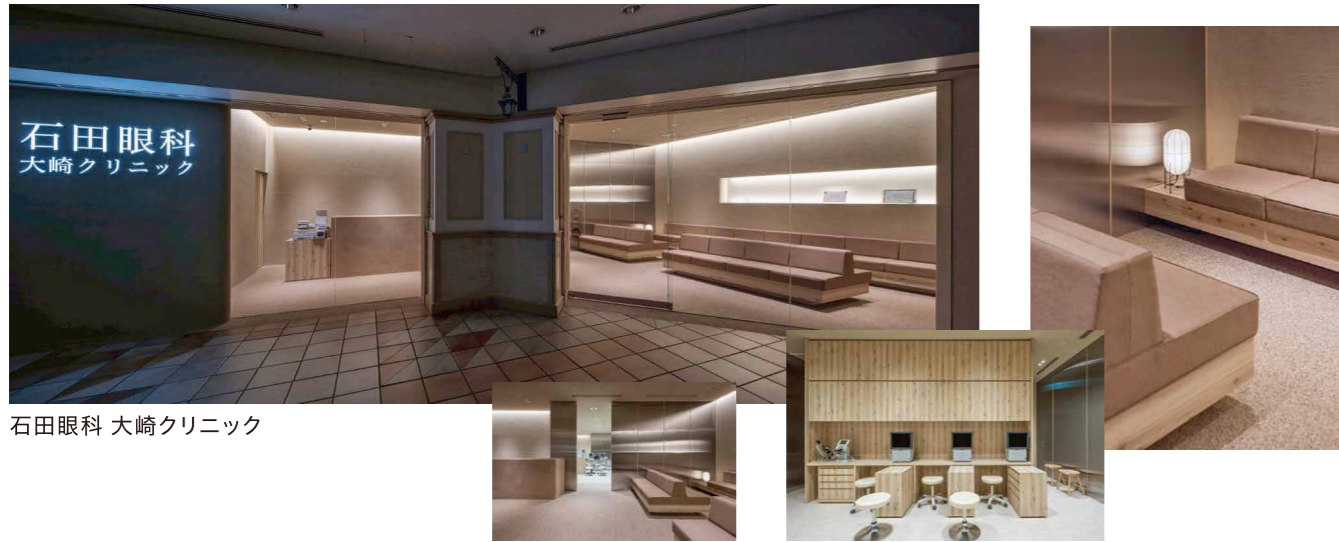


石田眼科大崎クリニック 開院のご挨拶



石田眼科 大崎クリニック

「都心のコンパクトなクリニックでありながら、大学病院レベルの医療を提供すること」です。院内はアースカラーを基調とし、来院された皆さまが安心して過ごせる、落ち着いた空間づくりを大切にしています。

石田眼科大崎クリニックのコンセプトは、大崎駅周辺は、かつて工場地帯として発展してきた地域ですが、近年の再開発により、高層マンションやオフィスビルが立ち並び都市へと大きく変貌を遂げています。ソニーやロソンをはじめとする企業本社も集積し、今後ますます発展が期待されるエリアです。

また、JR山手線・湘南新宿ライン・りんかい線が利用可能であり、埼玉・横浜・千葉方面からのアクセスにも優れています。品川駅から一駅という立地により東海道新幹線への接続も良好であり、今後は羽田空港へのアクセス向上も見込まれ、日本全国、そして世界へとつながる利便性の高い地域であると考えています。

2026年3月2日、東京都品川区・大崎駅に石田眼科大崎クリニックを開院いたしました。これに先立ち、2025年10月末をもって石田眼科の分院である新橋眼科を閉院し、新たに移転開院という形でスタートいたしました。

行事報告 [2025年5月~2026年1月]

- 5月 5/30 眼科フォーラム 東邦大学医学部眼科学講座
講師:松井沙衣子先生 「近視急増の時代に挑む!近視予防と近視抑制の最前線」
- 6月 6/8 上越市民健康セミナー 「生活習慣とフレイルの予防」
吉岡内科クリニック 吉岡大志先生
高野内科循環器クリニック 高野俊樹先生
わたなべ歯科 渡邊充先生
- 6月 6/20~22 第40回JSCRS学術総会(福岡)
副院長と本院・長野クリニックのスタッフが参加
- 7月 7/25 眼科フォーラム 東邦大学医学部眼科学講座
教授:堀裕一先生 「オキュラーサーフェス疾患 アップデート2025年版」
- 9月 9/12~14 第36回日本緑内障学会(兵庫)
看護師とメディカルクラークの2名参加
- 9月 9/21 石田眼科開院110周年 記念式典・祝賀会
副院長と本院・長野クリニックのスタッフが参加
- 10月 10/31 眼科フォーラム 京都府立医科大学眼科学教室
准教授:上野盛夫先生「緑内障の診断と治療」
- 12月 文藝春秋 2026年1月号
「同級生交歓」に院長と同級生掲載
- 1月 2026年新年会
本院、糸魚川クリニック、長野クリニック 合同で今年も新年会を開催しました

論文掲載

- 「特発性網膜前膜に対する硝子体手術後3年間の臨床経過」眼科臨床紀要2025年12月号 掲載
- 「Correlation between mid-term intraocular pressure and aqueous flare value in micropulse transscleral cyclophotocoagulation: a retrospective observational study」BMC Ophthalmology March,2026 掲載

専門外来のご案内 [4月~7月]		日程は変更になる場合があります。なお、専門外来は予約制となっております。詳しくはスタッフにお尋ねください。	
網膜硝子体専門外来	順天堂大学練馬病院 眼科特任教授 横山 利幸先生 4/17、6/26 京都府立医科大学附属病院 眼科客員教授 寺尾 信宏先生 4/17、5/8、6/12、7/10 米田医師他 4/18、5/16、6/13、7/11	角膜屈折矯正専門外来	聖路加国際病院 顧問 山口 達夫先生 4/1、5/13、6/3、7/1 国立長寿医療研究センター病院 眼科部長 稲富 勉先生 6/6 京都府立医科大学附属病院 眼科客員教授 横井 則彦先生 4/28、5/26、6/23、7/28
緑内障専門外来	東京大学医学部附属病院 前眼科教授 相原 一先生 5/16、7/4 新潟大学大学院医学総合研究科眼科学 准教授 赤木 忠道先生 6/25	眼形成・涙嚢専門外来	京都府立医科大学附属病院 眼科助教授 渡辺 彰英先生 4/25、5/30、7/4 富山大学附属病院 眼科准教授 柚木 達也先生 4/18、5/9、7/18
小児眼科専門外来	順天堂大学練馬病院 眼科特任教授 横山 利幸先生 4/17、6/26	斜視・弱視専門外来	順天堂大学練馬病院 眼科特任教授 横山 利幸先生 4/17、6/26



最新眼科医療器機紹介



最新白内障・硝子体手術装置 UNITY® VSC (Vitreoretinal Cataract System)

UNITY VSCは「1台で前眼部から後眼部まで」をコンセプトに作られた手術装置です。白内障手術では新しい超音波乳化吸引術を採用し、最大2倍の効率で水晶体の除去を実現。網膜硝子体手術においては、1分あたり最大30,000カットの高出力・高精度なカッターを搭載しています。また、独自の流体システムにより、手術の安定性が上がりました。

当院では2025年8月に本器械を新潟県内で初めて導入いたしました。

New Face 新人紹介

新しい仲間が増えました。どうぞよろしくお願いたします。

◆看護師 T・E
入職してから1年が経ちました。眼科看護は専門性が高く特有の業務も多いため、先輩方にご指導いただきながら勤務しています。多職種とも連携しながら地域の皆様を支える眼科医療が提供できる一員になれるよう努力いたします。よろしくお願いたします。

◆看護師 K・Y
入職してから半年が経ちました。まだまだ慣れないことが多く先輩方にフォローしてもらいながら日々勉強中です。患者さんに安心・安全な検査や処置を受けてもらうため、これからも努力いたします。どうぞよろしくお願いたします。

◆視能訓練士 Y・N
入職して約1年が経ちました。ご指導をいただきながら、日々多くのことを学んでいます。至らない点もあるかと思いますが、患者さんに安心して検査を受けていただけるよう努力いたします。よろしくお願いたします。

◆送迎ドライバー S・H
入職して約7ヶ月が経ちました。患者さんから「ありがとう」と感謝をいただけるやりのある仕事に、毎日が充実しています。これからも患者さんのために、また院内ではスタッフの皆さんの役に立てるよう努力いたします。よろしくお願いたします。

2025年手術件数報告 (2025年1月~12月)

● 白内障手術	1762件	● 外眼部手術	53件	● レーシック、PRK、PTK、タッチアップ	54件
● 緑内障手術	125件	● 眼瞼下垂手術	175件	● ICL、IPCL	107件
● 角膜移植	11件	● 斜視	2件	● クロスリンクング	9件
● 網膜硝子体手術	280件	● 涙嚢鼻腔吻合術	5件	● その他	105件
● 翼状片	35件	● 硝子体注入	729件		(合計3452件)



絆

100歳を超えて通院してきてくれている患者さんとともに



近年増加している小児の近視進行抑制治療にも力を入れております。就寝時に装着するハードコンタクトレンズによるオルソケラトロジー治療や、近視抑制効果が期待されるソフトコンタクトレンズを導入しています。さらに、マイオピアマスター（眼軸長測定装置）を用いることで、近視の進行予測や治療効果の判定を行い、より精度の高い治療を提供しています。

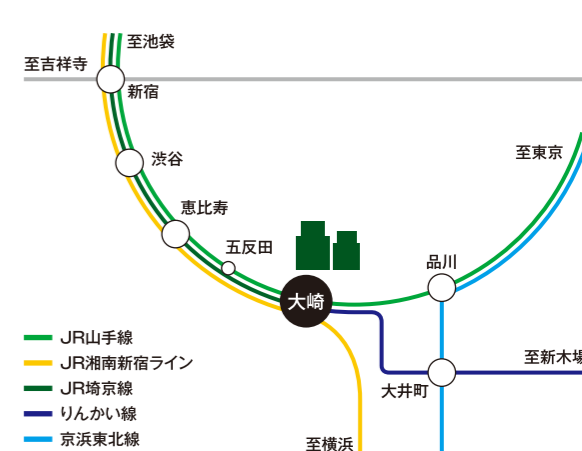
都内の一等地にありながら、広い手術室を完備している点も当院の特徴です。手術室は高い清潔度を維持し、近年若年層にも広がっているICL・IPCL（眼内コンタクトレンズ）手術といった近視矯正手術に対応しています。

さらに、
○緑内障手術
○網膜剥離などの硝子体手術にも対応しており、幅広い疾患に対して専門的な治療を提供いたします。

また、多焦点眼内レンズを含む豊富なレンズラインナップを取り揃え、患者様のライフスタイルに合わせた白内障手術のご提案が可能です。

当院の院長には、大野瑞先生が就任いたしました。大野先生は順天堂大学眼科学教室出身であり、1児の母としての視点も持ちながら、丁寧で温かみのある診療を行う眼科専門医です。白内障手術・緑内障手術にも対

応できる、非常に優れた臨床力を備えています。また、私自身も大崎クリニックにて、ICL手術や難治性白内障、緑内障、硝子体手術を担当



いたします。さらに、
○眼瞼手術 大原瞳医師
○理事長 石田誠夫・月1回の外来
と、グループとして総合的な診療体制を整えています。

石田眼科が東京に分院を持つ大きな意義の1つは、東京へ転居される患者様の「継続医療の受け皿」となることです。これまで当院に通院されていた患者様やそのご家族が東京へ移られた際にも、安心して同水準の医療を受けていただける体制を整えてまいります。

新たな挑戦ではありますが、東京で得た知見や経験を、今後は本院を含めた地域医療へ還元し、石田眼科グループ全体の医療の質をさらに高めていきたいと考えております。

職員一同、より良い医療を提供できるよう努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願申し上げます。